

HPのご案内

《<http://www.subaru-kougyou.jp>》

株主ご優待

株主優待カードのご利用により、有楽町スバル座上映作品がご鑑賞になれます。
(但し、特別興行や貸館等の際はご利用になれません。)

株主ご優待

株主優待カード 有楽町スバル座

TEL 03-3212-2826
JR有楽町駅日比谷口前
有楽町ビル内(東京都千代田区有楽町1-10-1)

ご所有株式数 ご招待回数

1,000株以上 6カ月 6回
(2カ月ごとに2回)

2,000株以上 6カ月12回
(2カ月ごとに4回)

3,000株以上 6カ月18回
(2カ月ごとに6回)

株主優待カード(書換え式)

株主優待カードのご利用について

株主優待カードを有楽町スバル座チケット売場(有楽町ビル2階有楽町スバル座劇場入口)へご提示願います。入場券の発券を行います。

なお、カードの発行に関する件やご利用の方法など詳細については、「株主優待のご案内」の冊子または、当社ホームページの「株主優待情報」をご参照いただけますようお願い申し上げます。

※この株主優待カードは、使い捨てのカードではございません。
(初回のみ発行で、6カ月ごとの発行はございません。)

株主様が、ご優待をお受けになる権利を有する間、カードに記載されている利用可能年月・残回数はスバル座ご利用時に適時、書き換えられます。

なお、紛失等で再発行される場合は、再発行手数料をご負担いただけますので、ご了承ください。



お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式(1,000株未満の株式)を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記載された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社TEL0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
- それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。

※ 証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・ 当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記載された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社TEL0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口に「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に替え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれます銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社TEL0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
TEL 03-3213-2861(代表)
<http://www.subaru-kougyou.jp>



株主のみなさまへ

第102期 報告書

平成27年2月1日▶平成28年1月31日



スバル興業株式会社

証券コード：9632

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情をたまわり誠にありがたく、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここに当社第102期（平成27年2月1日から平成28年1月31日まで）の報告書をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

平成28年4月

取締役社長 **小林憲治**

事業の概況

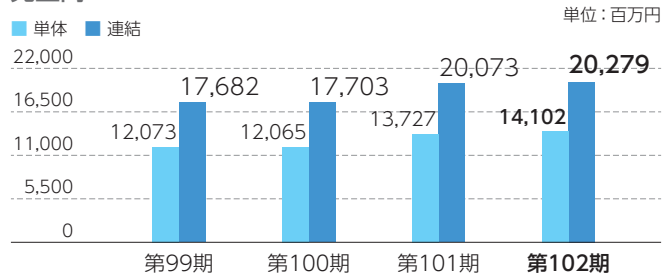
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国の景気下振れの影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当連結会計年度における売上高は202億7千9百万円（前期比1.0%増）、営業利益は18億5千8百万円（前期比4.6%増）、経常利益は18億9千2百万円（前期比4.4%増）、当期純利益は12億2千9百万円（前期比16.4%増）となりました。

期末配当につきましては、当期の業績が順調に推移したことを勘案し、また、平成28年2月9日に創立70周年を迎えることができましたことから、普通配当に特別配当、記念配当を加え1株につき7円25銭（中間配当と合わせた年間配当金は1株につき11円）とさせていただきます。

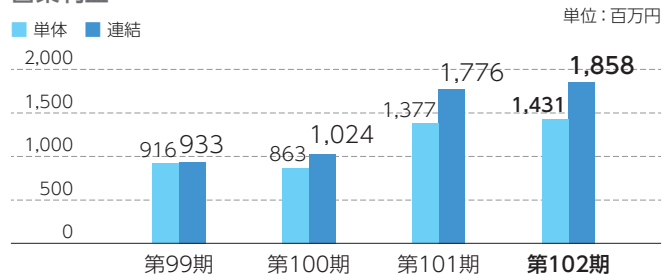
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援をたまわりますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト

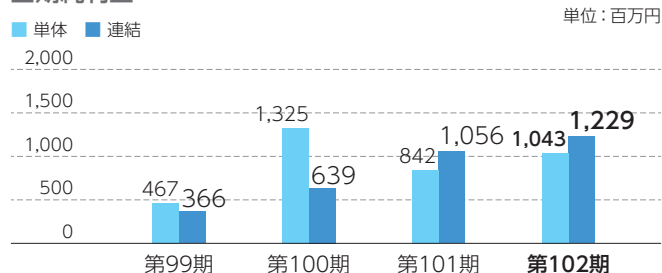
売上高



営業利益

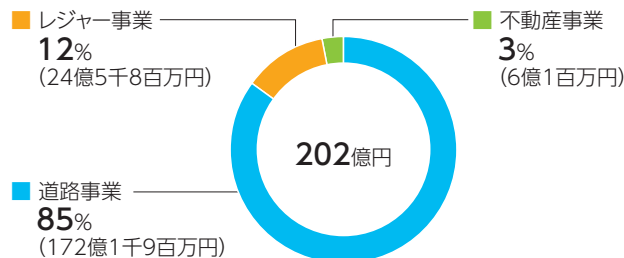


当期純利益



※第100期の単体の当期純利益につきましては子会社の吸収合併等による特別利益が増加したものです。

セグメント別売上高構成



道路事業

公共投資が高水準で推移しているものの前年度比では減少傾向であり、建設技能者の不足や材料・資機材の価格変動の動向等もあり、予断を許さない状況が続きました。



橋梁補修工事

このような中、道路維持・補修工事において、積極的な技術提案や積算精度の向上による受注増を図り、また、原価管理を徹底し業務の効率化やコストの削減による利益の向上に努めました。前期に対し除雪作業が減少いたしましたが、一部工事が大幅な増額で竣工したこともあり、売上高は172億1千9百万円（前期比0.3%増）、セグメント利益は19億6千6百万円（前期比2.5%増）となりました。

なお、連結子会社スバル・ソーラーワークス株式会社が兵庫県姫路市内において、期中2月に大塩第二太陽光発電所を、6月に的形太陽光発電所を完成させ、稼働中の大塩第一太陽光発電所と合わせ、3太陽光発電所（出力合計3.08MW）すべてが順調に稼働しております。

レジャー事業

有楽町スバル座における映画興行は、特別企画として夏季に「ゴッドファーザー」シリーズ2作品を、年末年始に「ローマの休日」をはじめとするオードリー・ヘプバーン主演4作品を上映いたしました。その他期中に邦画7作品・洋画11作品を上映し、「ベトナムの風に吹かれて」「ライアの祈り」等の邦画作品が好評を博しましたが、全体的には低調に推移し、売上高は前期を下回りました。

飲食事業は、食品・衛生管理の徹底を図り、季節に合わせた新メニューの販売をいたし、接客サービスの向上や店舗のリニューアル等魅力ある店舗づくりに努めました。

なお、期中6月にイタリア料理「ラ・ベルデ青山店」（東京都港区）を業績不振のため閉店し、その跡地に8月「トラットリアADONE青山店」を開店いたしました。

たが、店舗休業期間の影響等もあり、売上高は前期を下回りました。

飲食物品の販売事業は、高速道路売店用の商品販売は減少いたしましたが、その他の土産物店向けの菓子類や備蓄用防災商品の積極的な営業活動に努め、また、炭酸飲料類の販売が引き続き好調に推移したこともあり、売上高は前期を上回りました。

マリナー事業は、夢の島・浦安両マリナーの契約艇数が高水準で推移したことに加え、東京湾内最大規模のヨットレース「スバルザカップ」や「マリンフェスティバル」等各種イベントを開催し、ドッグラン「イーノの森DogGarden」や駐車場、レストラン等の利用者数が増加したこともあり、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は24億5千8百万円（前期比1.5%増）となりましたが、飲食店舗の人員費の増加や浦安マリナーのクレーン設備更新に伴う経費増加の影響等により、セグメント利益は9千6百万円（前期比30.0%減）となりました。



スバルザカップ

不動産事業

不動産事業は、吉祥寺スバルビルおよび新木場賃貸倉庫の空室率が改善し、その他の賃貸物件も堅調に稼働したため、売上高は6億1百万円（前期比23.2%増）、セグメント利益は3億7千1百万円（前期比46.3%増）となりました。



銀座スバルビル

(注) 営業利益は、各報告セグメント損益の合計額（24億3千4百万円）から全社費用（5億7千5百万円）を控除しております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費（総務・経理等管理部門に係る費用）であります。

来期の目標

道路事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、首都圏を中心に道路インフラの長寿命化整備が進んでおり、当事業においては受注増に向けて大いに期待されます。一方、東日本大震災の発生から5年が経過し復興関連工事が縮小される等、全国的には土木投資が減少傾向であることから、先行きは予断を許さない状況で推移することが予想されます。安全管理を基本とし、以下の課題に取り組んでまいります。

- ◇積算精度の向上や積極的な営業活動を展開し受注増に努めます。
- ◇原価管理を徹底し、業務の効率化やコストの削減による利益の向上に努めます。
- ◇橋梁およびトンネル等の老朽化による点検業務・補修工事や、異常気象による集中豪雨・大雪等の自然災害に迅速に対応するため、人員の増強および育成の強化、車両や機材設備の充実に努めます。
- ◇汚染污泥等の浄化に関する薬剤・機器の開発と工法およびシステムの営業に努めます。
- ◇そのほか鋼構造物の防錆剤等の研究開発や、公的インフラ運営の民間委託参入に関する情報収集や検討を推進いたします。

レジャー事業

個人消費が緩やかに回復しておりますが、人手不足による人件費の増加や今後の消費増税を控え、引き続き厳しい事業環境で推移することが予想されます。

お客様の立場に立った営業に努め、以下の課題に取り組んでまいります。

(映画興行)

- ◇有楽町スバル座の単館ならではの独自性のある作品選定により、良質でお客様に感動を与える作品の上映を行い、サービスの向上を図り集客増に努めます。

(飲食事業)

- ◇「食の安全・安心」を最優先とし、品質管理・衛生管理の徹底に努めます。
- ◇接客サービスの向上やお客様の嗜好の変化に応じたメニューづくりに取り組み、お客様満足度を高め集客増に努めます。
- ◇既存店舗の改装や補修を行い、より快適な店舗づくりに努め、また、新規店舗展開を視野に入れた情報収集を継続いたします。

(飲食物品等販売事業)

- ◇取引先のニーズにマッチした商品企画と提案を行い、積極的な営業活動を推進し販路の拡大に努めます。

(マリーナ事業)

- ◇ヨットレースやマリニイベント等の開催や効果的なPR活動を展開し、契約艇の獲得に努めます。
- ◇ドッグランやレストラン等の充実を図り、マリーナ施設の利用者増に努めます。
- ◇クラブハウスや桟橋等の改装や補修を進め、快適で魅力あるマリーナを目指します。

不動産事業

当社所有の賃貸物件は、概ね堅調に推移しております。引き続きテナントと良好な関係を築くことに努め、以下の課題に取り組んでまいります。

- ◇設備の計画的な老朽化対策を施し、テナントに安全で快適な環境を提供いたします。
- ◇不動産市況の動向に注視しながら、新規物件の開拓に努めます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のあたたかいご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

【中期経営戦略2016-2019 TRY! 2019】

「中期経営戦略2016-2019 TRY! 2019」を策定いたしました。当社は「社会に奉仕すること」の企業理念をもとに、さらなる企業価値の向上を図るために、経営目標を定め実行してまいります。

【経営数値目標】2019年1月期

売上高 220億円
営業利益 20億円

【経営目標】

- 道路・維持管理業務の確実な受注
 - 大規模更新、修繕事業の受注
 - 技術開発の推進
 - 道路管理施設の委託業務への参入
- レジャー・3~5店舗の新規出店
・マリーナ3事業所体制
- 不動産・計画的な補修工事と新規不動産の取得

【資本政策】

- 安定配当の維持、経営基盤の充実
- 配当1株当たり年間7円50銭をベースに業績連動による追加配当
- 利益向上を最優先とした資本効率の高い経営



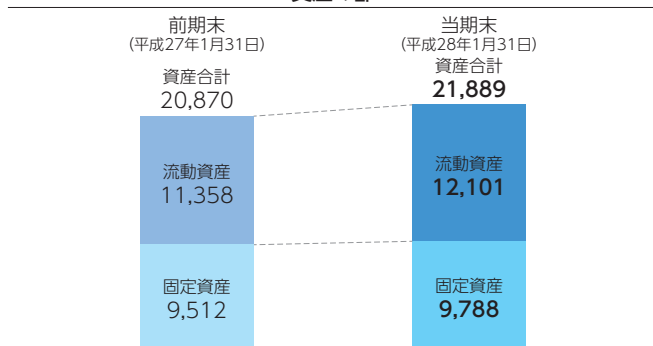
中期経営戦略2016-2019 TRY! 2019
URL <http://www.subaru-kougyou.jp/ir>

連結財務諸表

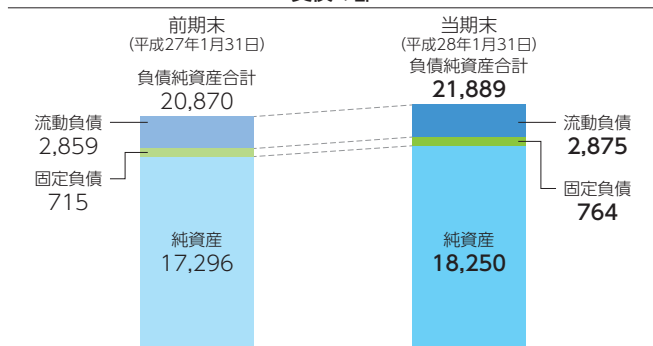
連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部



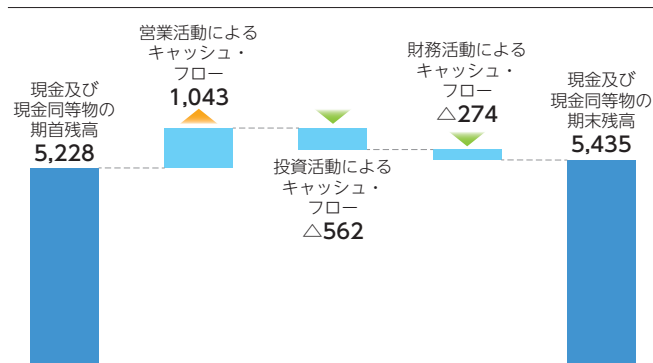
負債の部



連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

当期（平成27年2月1日～平成28年1月31日）



当社直営映画館および飲食店のご案内 (平成28年4月27日現在)

■ 映画館

有楽町スバル座 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 有楽町ビル2F	03-3212-2826
---	--------------

■ 喫茶店

ドールコーヒーショップサンシャインシティアルパ店 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャインシティアルパB1	03-3988-3949
ドールコーヒーショップ神田駿河台店 東京都千代田区神田駿河台一丁目6番5号 NTT駿河台ビル1F	03-5283-1575
ドールコーヒーショップ大山サンロード店 東京都板橋区大山東町52番2号	03-3579-9860
ドールコーヒーショップイーサイト上尾店 埼玉県上尾市柏座一丁目1番18号 JR上尾駅イーサイト上尾	048-775-8888
ドールコーヒーショップ新青山ビル店 東京都港区南青山一丁目1番1号 新青山ビルB1	03-5474-0688
ドールコーヒーショップ大手町フィナンシャルシティ店 東京都千代田区大手町一丁目9番7号 大手町フィナンシャルシティ サウスタワーB1	03-3281-3330
ドールコーヒーショップ大宮駅前店 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目8番1号 ベルヴェオフィス大宮1F	048-647-5707

■ 和食店

竹むら（日本そば） 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 有楽町ビルB1	03-3212-5015
---	--------------

■ イタリア料理店

ラ・ベルデ有楽町店 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 有楽町ビルB1	03-3213-6996
ラ・ベルデ日比谷店 東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国生命ビルB1	03-3591-4030
ラ・ベルデ大手町店 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 大手町ファーストスクエアB1	03-3217-1540

※トラットリアADONE青山店は平成28年4月中旬をもって閉店いたしました。

■ ダイニングレストラン

ディマーレ 東京都江東区夢の島三丁目2番1号 東京夢の島マリナー内	03-5569-2713
--	--------------

株式の状況 (平成28年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：40,000,000株

発行済株式の総数：26,620,000株

株主数：4,865名(前期末比435名減)

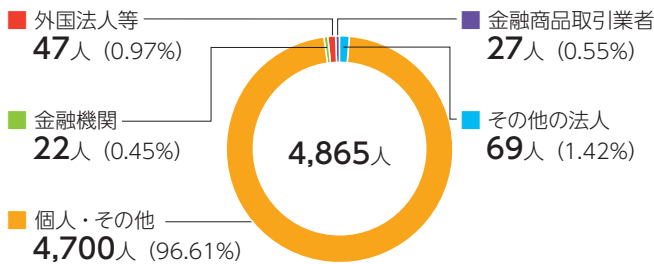
大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
東宝株式会社	13,607	52.20
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	568	2.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	391	1.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	322	1.23
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	280	1.07
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	208	0.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	184	0.70
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	181	0.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	165	0.63
東宝地所株式会社	156	0.60

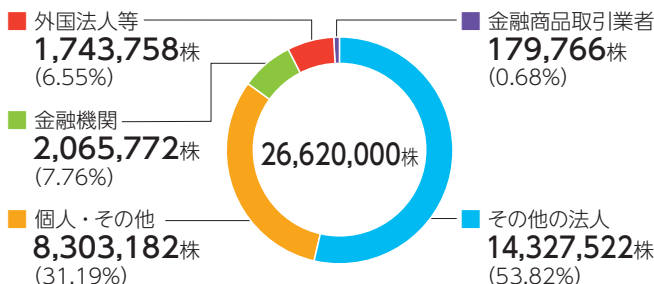
(注) 当社は自己株式557,496株を保有しております。なお、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

株主数



株式数



会社の概況

会社概要 (平成28年1月31日現在)

設立	昭和21年2月9日
資本金	13億3千1百万円
主要な事業所	43か所
従業員数	205名(連結427名)
URL	http://www.subaru-kougyou.jp
本社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関西支社	〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号 TEL 06-6313-4501 (代表)
主な事業内容	道路の維持・清掃・補修工事の請負 映画の興行、飲食店の経営・飲食物品の販売、マリナーの運営 不動産の賃貸借

取締役および監査役 (平成28年4月27日現在)

取締役社長(代表取締役)	小林 憲 治
専務取締役(代表取締役)	松丸 光 成
常務取締役	佐波 宏 夫
常務取締役	永田 泉 治
取締役	堀内 信 之
取締役	今沢 宏 之
取締役	岡部 一 朗
取締役	太古 伸 幸
取締役	高橋 昌 治
取締役(社外・独立)	宮家 邦 彦
常勤監査役(社外)	遠藤 信 英
常勤監査役	鈴木 誠 之
監査役(社外・独立)	野元 三 夏 (弁護士登録名：原澤 三 夏)

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.subaru-kougyou.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)